

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	アジア太平洋大学交流機構拠出金	事業開始年度	平成13年度	作成責任者		
担当部署	高等教育局	担当課室	学生・留学生課 留学生交流室	留学生交流室長 水見谷直紀		
会計区分	一般会計	上位政策	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 国際交流の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	UMAP(University Mobility in Asia and the Pacific:アジア太平洋大学交流機構)は、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生等の交流促進を目的とし、単位互換を普及するための単位互換方式の開発・活用などを行っている。このUMAPが行うアジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを支援することを目的としている。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	UMAPにおけるアジア太平洋地域内の高等教育機関間の協力を推進するとともに、学生等の交流を増やし、高等教育の質を高めることによって域内諸国・諸地域の文化・経済・社会制度の理解を深めるため、学生交流の阻害要因となっている単位互換問題を解決するための「UMAP単位互換方式(UCTS(UMAP Credit Transfer Scheme))」の開発の実施を行う。					
実施状況	UMAP単位互換方式による単位互換認定実績…平成21年度:受入70名、派遣6名					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	3	3	2	2	2
	執行額	3	3	2		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	3	3	2		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	・事業年度毎にUMAP日本国内委員会事務局が作成する決算書の提出を求め、支出先・用途を把握し、拠出金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。				
	見直しの 余地	・UMAPの運営経費は、UMAP正会員国が負担しているところ、今後ともUMAPの活動を継続するためには、我が国からの拠出水準を維持する必要があるが、UMAPの活動が一層明らかになるよう、活動内容等についてUMAP国内事務局と連携、協力していく。				
予算監 視の・ 効率化	本事業は、アジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを行うアジア太平洋大学交流機構(UMAP)を支援する事業であるが、UMAPの運営経費は、正会員国が負担しており、今後ともUMAPの活動を継続することが必要であることから、引き続き拠出金の用途等を検証しつつ、現行の予算規模を維持すべきである。					
補 記						

文部科学省
2百万円

〔UMAPが行うアジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを支援。〕



【拠出】

A. UMAP日本国内委員会
2百万円

〔他の国際理事国と連携し、①「UMAP単位互換方式(UCTS (UMAP Credit Transfer Scheme))」の開発、②「短期留学推進制度」の実施に向けた取り組みを検討、支援。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. UMAP日本国内委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	国際理事会出席旅費	1.0			
会議費	国際理事会開催	0.8			
拠出金	UMAP参加国拠出金	0.3			
計		2.1	計		
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		